

(1頁からの続き)

休憩を挟んでM S M流通研究所名誉顧問三浦一光氏を講師に講演をしていただきました。

◆講演要旨

テイチクレコード再生物語
〜変わらなくちゃ、
変えなくちゃ〜

M S M流通研究所

名誉顧問 三浦一光氏



三浦一光氏

私は松下電器産業(現在のパナソニック)を40年間勤め上げ、1996年、60歳の時にテイチクレコードへ事業再建を託されて送り込まれました。当時のテイチクレコードは長らくヒット曲に恵まれず業績は低迷していました。所属歌手の4番バッター(稼ぎ頭)は川中美幸でしたが、3番バッター(川中に続く稼ぎ頭)を育成する必要がありました。私がテイチクレコード社長に就任した1990年代後半の音楽業界は、年間に新曲が約1万7000曲リリースされる中、ミリオンセラーを記録するのは1〜3曲と大変な世界でありました。

当時、女性演歌歌手は妖艶な方が多い中、異色の天童よしみやテイチクレコード3番バッターとして従来と違う切り口で売り込みました。まず本人の写真を使わずポップな天童よしみキャラクターをイラストで表現し、「うち、歌が好きやねん。」のキャッチコピーで東京のJR山手線車内中吊り広告でPRしたところ、中高生のギャルたちから人気に火が着き始め、幸運や縁に恵まれ国民的人気を獲得しました。日本・韓国・中国3国共作となった「珍島物語」は、2年にわたる息の長いヒット曲となり、130万枚を売上げました。

また、在任中に思わぬヒットに恵まれたこともありました。大泉逸郎「孫」は、当初売れないだろうと考えて売れないことを前提にした販売戦略にしたところ、160万枚と演歌の単年度売上としては驚異的なミリオンセラーを記録しました。



講演後、アトラクション・サポテングラザーズによる「撃退コロナ音頭」を参加者全員で楽しみました

第37回 女性リーダー研修会



石井久子氏

11月24日、第37回女性リーダー研修会が名古屋市総合社会福祉会館において開催され、69名の女性リーダーが参加しました。

今回のテーマは、クラブ活動をまるごと楽しむためです。開会のあいさつの後、「他人ごとから自分ごと」の演題で知多市の南粕谷ハウス事務局長の石井久子氏に講演をしていただきました。

◆講演要旨

他人ごとから自分ごと

南粕谷ハウス

事務局長 石井久子氏

私は南粕谷で生まれ育ち、28年前、子ども会の会長として

て地域デビューして現在まで地域活動を続けています。本腰を入れるようになったのは、新しい住民の方から地域に愛着を持っていない内容を聞いてからです。以来、自分が生まれ育った南粕谷に住んで良かったと、みんなに言ってもらいたいと思うようになりました。

高齢者の介護・認知症予防・健康保持などを目的とした「南粕谷元気会」を平成17年に立ち上げ、年間を通してさまざまな催しを企画しました。また、新規加入を待っていないだけでなかなか老人クラブに入ってもらえないため、地域の盆踊りに出てPRをしたりしました。

また、老人クラブに加入していない高齢者に向けて「南粕谷おたすけ会」を発足させ、①日曜大工 ②搬送(病院送



迎や薬の受け取りなど) ③食事づくり ④お使い(買い物・ごみ出し・電球の取り換えなど) ⑤相談 ⑥指導(デジカメ・パソコンなど) ⑦見守り ⑧労力提供(草取りなど)などに当たりました。

他にも地域の小学校や里山を守るボランティア団体などと連携して①見守りパトロール ②地域住民に向けた図書室の有効活用 ③里山整備などを進め、多世代を巻き込んで住みよい地域づくりに当たりました。

平成22年にコミュニティ(自治会)で「5年後・10年後の南粕谷」を議論した際、多世代交流の場として常設型交流サロンの設置が検討され、酒屋跡地のテナントに常設型サロン「南粕谷ハウス」をオープンしました。常設型にしたのは、週1日オープンにするが高齢者が通院日と重なってしまつた場合に間隔が空いてしまうからです。多世代交流を念頭にしていますので、地域のさまざまな方の協力のもと、サロン(喫茶)運営の他、多彩なイベントを催して楽しんでいます。